

令和3年度 柏原市自立支援協議会【相談部会】活動実績

| 日時     | 項目    | 内容  |
|--------|-------|---|
| 4月21日  | 事例検討会 | 事例「軽度知的障害のある兄と発達障害のある弟二人暮らしのケース」                                |
| 5月19日  | 事例検討会 | コロナ過における利用者への対応について   |
| 6月16日  | 勉強会   | 4月からの報酬加算の変更点について   |
| 7月21日  | 事例検討会 | 事例「支援が難しい事例について」  |
| 8月18日  | 事例検討会 | 事例「寂しさを埋めたいと求める男性の支援について」                                       |
| 9月15日  | 勉強会   | 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム検討会議<br>「“医療観察のケース”地域での生活を支える取り組みについて」     |
| 10月20日 | 事例検討会 | 事例「相談支援を求めない事例の支援について」  |
| 11月17日 | 事例検討会 | 事例「カスタマーハラスメントと思われる事例」  |
| 12月15日 | 勉強会   | 生活困窮の事例について情報共有   |
| 1月19日  | 事例検討会 | 事例「介護保険に移行していく方の対応について」   |
| 2月16日  | 勉強会   | 振り返り及び次年度の計画  |
| 3月16日  | 勉強会   | 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム検討会議<br>「小さい子どもがおり、本人及び子どもの支援について検討したいケース」 |

【備考】

障害福祉課と7相談支援事業所から毎回10～12名程度  
事例提供者・司会・議事録は交代

『精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムに関する検討会議』(9月・3月)は保健所・医療機関・訪問看護・福祉サービス事業所からも参加

資料4-1  
相談部会

Plan(計画)一覧

| No        | 困りごと(事象)                                 |              | 原因<br>(分析)                            | どうやったらクリアできるか<br>(仮説)                                     | 具体的な取り組み                 |         |                  | 評価<br>予定時期 |
|-----------|--|--------------|---------------------------------------|---|--------------------------|---------|------------------|------------|
|           | 内容                                       | 誰が           |                                       |   | 誰が                       | いつ      | どうやって            |            |
| 相<br>1501 | 障害福祉サービスについて<br>利用者に分かりやすいパン<br>フレットがない  | 本人・家族        | 周知・広報のパンフレット<br>が作られていない              | 利用者向けのサービス利用<br>のための手引書を作成する                              | 市障害福祉<br>課(下村氏)          | 2016年度内 | 課内で検討            | 2016年11月   |
| 相<br>1502 | 相談支援の業務マニュアル<br>(ガイドライン)がない              | 支援者          | 市独自のものが作られて<br>いない                    | 部会でマニュアルを作成す<br>る   | さんねっと<br>なにわ             | 2016年   | 部会やチームで<br>検討    | 2016年11月   |
| 相<br>1503 | 計画相談に対応出来る事業<br>所が少ない                    | 本人・家族        | 指定特定相談支援事業所<br>(相談支援専門員)が少ない          | 他の社会福祉法人等に相談支<br>援事業の取り組みをお願いに<br>行く                      | 市障害福祉<br>課               | 2016年   | 直接各事業所<br>へ行く    | 2018年11月   |
| 相<br>1504 | 障害福祉の各種サービスが<br>ない(少ない)ため必要な時<br>に利用できない | 本人・家族        | 事業所が運営しやすいよ<br>うなシステム(制度)に<br>なっていない  | (事業所を増やす)<br>(各種サービスを増やす)<br>代替できるサービスを考える、情報を得<br>る、交渉する | 市障害福祉<br>課               | 2016年   | 部会で検討            | 2018年11月   |
| 相<br>1505 | 就労移行事業を利用するた<br>め、他市事業所にいかなけ<br>ればならない   | 本人           | 市内に就労移行事業所<br>がない                     | (事業所を増やす)<br>(各種サービスを増やす)<br>代替できるサービスを考える、情報を得<br>る、交渉する | 市障害福祉<br>課               | 2016年   | 部会で検討            | 2018年11月   |
| 相<br>1506 | 児童のショートステイがない                            | 本人・家族        | 対応する事業所がない                            | (事業所を増やす)<br>代替できるサービスを考える、情報を得<br>る、交渉する                 | 市障害福祉<br>課<br>部会         | 2016年   | 部会で検討            | 2018年11月   |
| 相<br>1507 | 他分野の機関との情報交換<br>ができる場所が欲しい               | 支援者          | 情報交換ができる場がな<br>い、少ない                  | 情報交換できる場を作り、それ<br>ぞれの分野の相互理解を深<br>め、協力体制を整える              | 障害福祉課<br>くまのいえ<br>ピアセンタ― | 2016年   | 部会やチームで<br>企画、実施 | 2016年11月   |
| 相<br>1508 | 教育分野との連携が難しい                             | 支援者<br>本人・家族 | 情報交換できる場がない<br>相談支援事業とは何か<br>周知されていない | 情報交換できる場を作り、情<br>報共有、普及活動を行う                              | 障害福祉課<br>くまのいえ<br>ピアセンタ― | 2016年   | 部会やチームで<br>企画、実施 | 2016年11月   |
| 相<br>1509 | 具体的な難病への支援の仕<br>組みや対応が決まっていな<br>い        | 本人           | 保健所と障害福祉分野と<br>の連携が出来ていない             | 保健所難病チームと障害福祉<br>課で、当事者(該当者)に情報提<br>供を行う                  | 障害福祉課<br>くまのいえ<br>ピアセンタ― | 2016年   | 部会やチームで<br>企画、実施 | 2016年11月   |

資料4-1  
相談部会

Check(確認・評価)一覧

| No    | 具体策          | 評価日      | 実行してどうだったか<br>(検証)      | クリア(終了)/持ち越し | 理由(持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載)                   |
|-------|--------------|----------|-------------------------|--------------|--|
| 相1501 | 課内で検討        | 2016年11月 | 市で作成、今後もバージョンアップしていく    | 終了           | 「柏原市障害福祉の手引き」の改良を行った。引き続きわかり易い手引きの改良に努める |
| 相1502 | 部会やチームで検討    | 2016年11月 | 4・10月勉強会で検討             | 終了           | 2017年5月マニュアル作成                           |
| 相1503 | 直接各事業所へ行く    | 2016年11月 | 随時実施中                   | 終了           | 新事業所や既存の事業所での相談支援専門員数など徐々にではあるが増えている     |
| 相1504 | 部会で検討        | 2016年11月 | 制度上の制約がある中で、個別に対応するしかない | 持ち越し(終了)     | 制度改正や、徐々にではあるが事業所数の増加などで利用できる資源が増えてきている  |
| 相1505 | 部会で検討        | 2016年11月 | 検討中                     | 持ち越し(終了)     | 他市の事業所など利用                               |
| 相1506 | 部会で検討        | 2016年11月 | 市内には事業所が無く、他市の事業所を利用    | 持ち越し         | 他市の社会資源情報など共有                            |
| 相1507 | 部会やチームで企画、実施 | 2016年11月 | H28年度も介護保険ケアマネとの合同勉強会実施 | 終了           | H29年も継続的に合同研修を実施                         |
| 相1508 | 部会やチームで企画、実施 | 2016年11月 | 子ども部会への教育分野関係者の参加が定着    | 終了           | 子ども部会で、より具体的に課題として取り上げ検討されている            |
| 相1509 | 部会やチームで企画、実施 | 2016年11月 | 6月勉強会で保健所難病担当者勉強会実施     | 終了           | H28年度の勉強会で、保健所との連携強化の共通認識を持つ             |

令和3年度 柏原市自立支援協議会【くらし部会】活動実績

| 日時              | 項目         | 内容  |
|-----------------|------------|---|
| 4月14日           | 部会定例会議     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度くらし部会事業計画および活動スケジュールについて</li> <li>・地域連携について</li> </ul>   |
| 6月15日           | 部会定例会議     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動スケジュールについて(音楽会は中止。啓発ポスターは実施。グループホーム見学会・世話人交流会は実施。)</li> <li>・課題整理シートについて(評価及び項目見直し)</li> <li>・地域連携を見据えて市内のグループホーム対象に実施するアンケート内容について</li> </ul>    |
| 10月19日          | 部会定例会議     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発ポスターの作成と掲示について(11月中旬から12月9日まで掲示)</li> <li>・アンケートについて(市内新設のホームにも部会参加を含め案内する。)</li> <li>・部会研修について(「第2そよかぜ」見学会11月実施。職員の交流会と勉強会をかねて2月に計画。)</li> </ul> |
| 10月             | アンケート実施    | グループホーム対象アンケートを市内7事業所に実施。内容は平時と災害時の困りごとについて。地域との連携を考えるきっかけにする。  |
| 11月18日<br>25日   | グループホーム見学会 | 社会福祉法人フォレスト福祉会の「第2そよかぜ」の見学会を2回に分け実施。  |
| 11月末～12月<br>16日 | 啓発ポスター掲示   | 市内の近鉄各駅・JR柏原駅、国分図書館、ふれあい館オガタ、ジョイフル国分に掲示。<br>広報かしわら、自立支援協議会のホームページにも掲載。  |
| 1月18日           | 部会定例会議     | 活動の振り返り   |

【備考】

| No                            | 困りごと (事象)          |  | 原因 (分析)  | どうやったらクリアできるか (仮説)   | 誰が                          | いつ      | 具体的な取り組み   |  | 評価<br>予定時期 |
|-------------------------------|--------------------|--|--|--|-----------------------------|---------|--|--|------------|
|                               | 内容                 | 誰が   |  |  |                             |         | どうやって  |  |            |
| 1901                          | 災害発生時<br>災害復旧時     | 災害時の障害者に対する柏原市の対応(避難所の支援体制、避難できないう時の支援、救助や安否確認の体制等)がわからない。 | 柏原市として、障害者の支援について具体化されたものは確立されていないので、まず自助・共助の部分で自分たちで取り組める事を考えて行く。 | 大阪府のガイドライン等を参考に、共同生活援助に特化した勉強会を開催する。<br>世話人の交流会を実施し災害時等にこの協力関係構築をしやすいうように顔の見える関係を作ると同時に、研修会も開催し災害時の障害者支援の理解を深める。 | くらし部<br>協議会<br>事務局<br>障害福祉課 | 2021年度中 | 大阪府のガイドラインなど、関係する資料を集め、具体的な課題について検討していく。<br>大学の先生など、障害者や共同生活援助の特性に絡めて話をしてくださる講師を招くことも検討する。 | コロナ感染の状況に合わせて、上半期に準備をすすめ、下半期に実施。                   |            |
| 2101<br>※<br>1506<br>を愛<br>を更 | 地域交流<br>啓発<br>資源開発 | 地域との交流の機会が少ない。   | 障害者の生活の様子や障害特性、支援方法などが地域住民に知られていない。                                | 現場の関係機関からのニーズを把握し、交流の機会を増やすための方策を立てる。  | くらし部<br>会                   | 2021年度中 | 共同生活援助の施設へアンケートを実施する。  | くらし部会にてアンケート内容を検討し、秋を目途にアンケートを実施、下半期にアンケート結果を精査する。 |            |

Check(確認・評価)2021年度評価

|                      | 課題  | 実行してどうだったか<br>(検証)  | クリア(終了)/持ち越し     | 理由(持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載)   |
|----------------------|---|---|------------------|--|
| 1901                 | 災害時の障害者に対する柏原市の対応(避難所の支援体制、避難できない時の支援、救助や安否確認の体制等)がわからない。 | 実行してどうだったか(検証)<br>研修会を予定していたがコロナ感染予防の為に中止。世話人交流会も中止。  | クリア(終了)<br>持ち越し。 | 大阪府のガイドラインなど、関係する資料を集め、具体的な課題について検討していく。大学の先ホームに特化した災害研修を企画する。大学の先生や災害を経験した施設の管理者など、障害者や共同生活援助の特性に絡めて話をしてくださる講師を招くことを検討する。 |
| 2101<br>※1506を<br>変更 | 地域との交流の機会が少ない。  | 12月の障害者週間に各ホームで啓発ポスターを作成し、柏原市内の駅や商店街に掲示した。<br><br>共同生活援助の事業所へアンケートを実施した。各事業所の困りごとがわかったが地域展開へつなげるところまで達せず、今後の課題として残った。 | 持ち越し。            | ホームで求められている困りごとに対して、地域住民の協力を得られるように地域展開をする。  |

資料4-3  
日中・就労部会

令和3年度 柏原市自立支援協議会【日中・就労部会】活動実績

| 日時     | 項目     | 内容  |
|--------|--------|---|
| 4月20日  | 部会     | 新型コロナウイルス感染予防のため中止  |
| 5月18日  | 部会     | 新型コロナウイルス感染予防のため中止  |
| 6月13日  | 事務局会議  | ・令和3年度の活動の見直し・修正  |
| 8月16日  | 部会     | ・令和3年度の活動方針について<br>・各機関の取り組み・情報共有   |
| 9月22日  | 研修     | 「障がい者雇用を考える集い」に参加   |
| 10月19日 | 部会     | ・第20回障がい雇用を考える集いについて<br>・「柏原市障害者就労施設等からの物品の調達の推進を図るための方針」について<br>・共同受注について<br>・事業所紹介パンフ・マップ作成について<br>・ケース支援について |
| 11月15日 | 部会     | ・就A事業所の活動内容の情報共有、共同作業受注について<br>・他市との連携について  |
| 12月15日 | (相談部会) | ・相談部会:勉強会に参加(事例発表:支援が終了したケースの支援について)  |
| 12月21日 | 部会     | ・「柏原市障害者就労施設等からの物品の調達の推進を図るための方針」「事業所パンフ」のアンケート等の準備作業<br>・ケース支援について   |
| 1月26日  | WEB会議  | ・事業所マップについての意見交換<br>・八Aの会(八尾市就労継続支援A型事業所連絡会)の参加について   |
| 3月16日  | WEB会議  | ・令和3年度活動の振り返り、令和4年度活動方針について   |

【備考】

- ・WEB会議の開催について(事業所が参加しやすい、移動の負担がない)

## 資料4-1-3

## 日中・就労部会

## Plan(計画)

| No     | 困りごと(事象)   |                  | 原因<br>(分析)  | どうやったらクリアできるか<br>(仮説)  | 具体的な取り組み      |                |  | 評価<br>予定時期 |
|--------|--|------------------|---|--|---------------|----------------|--|------------|
|        | 内容   | 誰が               |   |  | 誰が            | いつ             | どうやって  |            |
| 日就1501 | 働く場がない<br>(一般就労)                                       | 当事者              | 事業者間の情報不足<br>当事者・雇用側双方の情報不足                       | 日中・就労部会の活性化と<br>情報共有の手段を検討す<br>る。<br>就労支援マニュアル(仮)の<br>作成を継続検討。 | 日中・就労         | 令和2年           | プロジェクトの立<br>ち上げ、就職希<br>望者と企業の応<br>募の間マッチン<br>グをシステム化<br>できるか検討を<br>行う。 | 令和2年度末     |
| 日就1502 | 働くことができるか不安<br>(一般就労)                                  | 当事者<br>(親)       | スキルアップと就労支援が<br>不足している                            |  |               |                |  |            |
| 日就1503 | アフターフォローができない<br>(一般就労)                                | 事業所              | 日常の業務に追われ手が回<br>らない                               | 人員の確保及び就労定着<br>支援加算の活用   | 各事業所          | 令和2年           | 加算制度の周知と<br>活用を図る  | 令和2年度末     |
| 日就1504 | 送り出した後の人員の確保<br>(福祉的就労)                                | 事業所              | ニーズがどの程度あるのか<br>把握できていない<br>事業所間の情報不足が明ら<br>かになった | 事業所間のネットワーク作り  | 事業所間<br>日中・就労 | 令和2年           | 相談支援事業所等<br>を通して情報共有<br>を行う。   | 令和2年度末     |
| 日就0301 | 各機関の担当者を知る機<br>会がなく連携がとりにくい<br>・相談したいがどこに相談<br>していいか不明 | 各支援<br>機関担<br>当者 | 各機関の役割を知る機会<br>が少ない<br>・担当者が変更すると連携の<br>機会が少なくなる  | 定期に情報共有する機会<br>をもつ<br>・利用者支援について検討<br>する機会を持つ                  | 部会            | 3か月ごとの<br>定例会議 | 会議<br>研修   | 令和4年度末     |
| 日就0302 | 新規利用者がいない  | 各事業<br>所         | 事業所を情報提供する方<br>法がない                               | 事業所の紹介をホーム<br>ページで掲載する。  | 部会            | 3か月ごとの<br>定例会議 | 会議等  | 令和4年度末     |



資料4-3  
日中・就労部会

課題整理シート

Check

| No         | 課題  | 具体策                                  | 評価日    | 実行してどうだったか<br>(検証)  | クリア(終了)/持ち越し | 理由(持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載)  |
|------------|---|--------------------------------------|--------|---|--------------|---|
| 日就<br>1501 | 働く場がない<br>(一般就労)                                  | 研修会や勉強会・発表会<br>等の情報を集め周知す<br>る       | 令和3年3月 | 令和2年度は、新型コロナウイルス感染により、十分な活動ができなかった。<br>・その中で、全体研修「各就労支援機関の役割」について実施し、改めて、支援機関同士の連携の必要性が明らかになった。<br>・各事業所の課題を集約するためアンケータを実施した。 | 終了           | 令和3年度は、新たに部会活動を再構築するために、各課題は一旦終了し、新たな連携の中で課題抽出を行うものとする。                             |
| 日就<br>1502 | 働くことができるか不安<br>(一般就労)                             |                                      | 令和3年3月 |   | 終了           |   |
| 日就<br>1503 | アフターフォローができない(一般就労)                               | 支援員の養成と確保                            | 令和3年3月 |   | 終了           |   |
| 日就<br>1504 | 送り出した後の利用者の確保(福祉的就労)                              | 空き情報等を発信する                           | 令和3年3月 |   | 終了           |   |
| 日就<br>0301 | 各機関の担当者を知る機会がなく連携がとりにくい<br>・相談したいがどこに相談していいかわからない | 定期に情報共有する機会をもつ<br>利用者支援について検討する機会を持つ | 令和4年3月 | ・コロナ禍の影響により定期開催は難しかった。<br>・開催時に各機関の取り組みを共有することでケース支援に活かすことができた。   | 持ち越し         | 参加者の定着、拡大を図るためには定期開催やWEB開催を行うことで継続した土台作りが必要。<br>検討内容によっては、他の部会、近隣市の事業所との連携も図っていきたい。 |
| 日就<br>0302 | 新規利用者がいない   | ・事業所の紹介パンフレットを作成し、各機関に配布する           | 令和4年3月 | 紙媒体を想定していたが、ネットでの情報が有効と判断し、ホームページでの掲載を検討中。  | 持ち越し         | 左記のとおり、自立支援協議会ホームページに掲載するために企画書を準備するために時間を要する。                                      |

資料4-4  
こども部会

令和3年度 柏原市自立支援協議会子ども部会 年間活動実績

|            | 項目     | 内容  |
|------------|--------|---|
| 6月<br>11日  | コア会議   | 令和3年度の子ども部会の活動について  |
| 8月<br>24日  | コア会議   | 8/26の就学説明会の打合せ  |
| 8月<br>26日  | 就学説明会  | 柏原市内の年少・年中を持つ保護者の中で、支援学校・支援学級・通級指導教室を検討している方に対して、就学に向けての説明会を実施。23組のご家族が参加   |
| 9月<br>24日  | コア会議   | 就学説明会振り返り／9月29日部会打合せ  |
| 9月<br>29日  | 部会     | 令和3年度子ども部会の運営について／意見交換会『地域課題について』   |
| 10月<br>14日 | コア会議   | 10/22の就学前座談会の打合せ  |
| 10月<br>22日 | 就学前座談会 | 柏原市内の年少・年中を持つ保護者の中で、支援学校・支援学級・通級指導教室を検討している方に対し、すでに子どもが就学して支援学級等を使っている保護者が『先輩ママ』としてグループに分かれて学校の様子を伝える機会を設けた。14人の保護者が参加。西浦支援学校説明会実施。 |
| 2月<br>3日   | コア会議   | 2/17部会打合せ／来年度の日程調整  |
| 2月<br>17日  | 部会     | 感染防止のため、中止  |
| 2月         | 事業所見学会 | 感染防止のため、中止  |

資料4-4  
こども部会

2020年度  
Plan (計画)

| No    | 困りごと (事象)   |               | 原因<br>(分析)  | どうやったらクリアできるか<br>(仮説)   | 具体的な取り組み       |        |                  | 評価<br>予定時期 |
|-------|---|---------------|---|---|----------------|--------|------------------|------------|
|       | 内容  | 誰が            |   |   | いつ             | 誰が     | いつ               |            |
| 子1501 | 18歳になると、放デイが使えなくなり、生活介護就Bなどが終わった後のサービスがなく、親がフルタイムで働けない。 | 親 (家族)<br>支援者 | ・生活介護等の営業時間が短い (15時頃に終わる)<br>・大人対象のタイムケア事業がない<br>・年齢ごとに異なる機関が変わり、一貫して支援できる仕組みがない<br>・情報が一元化されていない | ・大人対象のタイムケアを創設<br>・生活介護等の利用時間延長とそれに伴う必要な職員配置基準の見直し<br>・相談支援ファイルを作成する<br>・分野を越えた関係機関のネットワークを構築する | くらし部会          | 2015年度 | 具体的に検討し直す        | クリア (終了)   |
| 子1502 | 進学やサービス利用の際に同じ内容の成育歴をそのたびに話さなければならぬ。                    | 親 (家族)<br>支援者 | ・市内に広い公園がない<br>・園庭のある療育施設がない  | ・相談支援ファイルを作成する<br>・分野を越えた関係機関のネットワークを構築する   | 子ども部会          | 2015年度 | 相談支援ファイルかしわらって作成 | クリア (終了)   |
| 子1503 | 障害児が思い切り遊べる場所がない。                                       | 本人            | ・市内に広い公園がない<br>・園庭のある療育施設がない  | ・廃園、廃校になった幼稚園や小学校、企業の運動場や体育館を借りる  | 子ども部会          | 2015年度 | 教育委員会への打診        | クリア (終了)   |
| 子1504 |   | 親 (家族)        |   |   | 障害福祉課<br>教育委員会 | 2015年度 | 行政間での調整          | クリア (終了)   |
| 子1505 | 各種検診で該当する児が出て、その後に療育を十分に受ける体制が整っていない。                   | 親 (家族)<br>支援者 | ・子どもの障がいを受容できない<br>・親が理解しても親族が受容できない<br>・親の障がい受容に見極めが困難<br>・各担当部署だけでは、年齢による経過を追えない                | ・乳幼児健診受診の積極的受診<br>・相談機関の利用<br>・中核的な療育を担う場所の創設   | 子ども部会          | 2015年度 | 資源マップの作成         | クリア (終了)   |
| 子1506 |   | 支援者           |   |   | 障害福祉課          | 2017年度 | 行政計画へ反映          | 2017年度末    |
| 子1507 |   | 本人            | ・送迎バスに看護師が乗っていない為医療的な行為ができない<br>・親が車を運転できるなど毎日通学に対応できない<br>・移動支援で通園・通学が認められていない (この判断に地域差がある)     | ・医療職がバスに添乗できるようになる<br>・公的サービスが充実する  | 障害福祉課<br>教育委員会 | 2016年度 | 協議の場を持つ          | 2016年度末    |
| 子1508 | 通院、通学の送迎がなくて困っている。                                      | 親 (家族)<br>支援者 |   |   | 障害福祉課          | 2017年度 | 支給範囲等の見直し        | 2017年度末    |

| No    | 困りごと(事象)                                |                                   | 原因<br>(分析)                             | どうやったらクリアできるか<br>(仮説)                  | 具体的な取り組み |                     |                          | 評価<br>予定時期 |
|-------|---|-----------------------------------|--|--|----------|---------------------|--------------------------|------------|
|       | 内容                                      | 誰が                                |  |  | いつ       | 誰が                  | いつ                       |            |
| 子1509 | 医ケア児の利用できるサービスが少ない。                     | 親(家族)                             | ・医ケア児が使えるサービスが少ない                      | ・必要なサービスに関する情報を適切に知ることができる             | 子ども部会    | 2015年度              | 資源マップの作成                 | 『1601』に統合  |
| 子1510 | 医療ケア(吸引・気管切開・胃ろう等)の必要な子どもが利用できる保育所がない。  | 支援者                               | ・看護師の配置義務がない事業が多い                      | ・制度上の人員配置を見直す                          | 障害福祉課    | 2017年度              | 行政計画に反映                  |            |
| 子1601 | 発達に偏りのある子どもが使えるサービスの一覧表がほしい。            | 親(家族)                             | ・保育所に医療ケアの整備が整っていない                    | ・保育所の整備が進む                             | 子ども部会    | 2017年度              | 協議の場を設ける                 | 2017年度末    |
| 子1602 | 療育機関(心理・OT・PT・ST等)がすぐに利用できる。            | 親(家族)                             | ・柏原市内で利用できる公的サービス・医療機関・事業所・教室などの一覧表がない | ・サービス一覧表を作成する                          | 子ども部会    | 2020年度              | 部会で検討                    | 2020年度末    |
| 子1603 | 相談や療育機関を利用した子どもの状況や検査結果を柏原市全体として把握しにくい。 | 相談機関<br>親(家族)                     | ・療育機関の数が限られている                         | ・療育機関の数を増やす                            | 子ども部会    | 2017年度              | 社会資源の創設に努めるよう、呼びかける      | 2017年度末    |
| 子1604 | 相談や療育機関を利用した子どもの状況や検査結果を柏原市全体として把握しにくい。 | 保健センター<br>子ども未来部<br>教育委員会<br>療育機関 | ・情報を共有するシステムがない                        | ・市として情報を共有するシステムを構築する(個人情報情報の関係で難しいか?) | 子ども部会    | 2020年度              | 相談支援ファイル『かしわらっこ』の運用を推進する | 2020年度末    |
| 子1605 | 発達に偏りのある子どもを持つ保護者が不安や悩みを抱えている。          | 親(家族)                             | ・保護者同士が交流できる場が足りていない                   | ・就学前相談会の実施                             | 子ども部会    | 2017年度              | 子ども部会主催で実施する             | 2017年度末    |
| 子1606 | 発達に偏りのある子どもとの接し方を勉強する機会がほしい。            | 支援者<br>親(家族)                      | ・相談窓口は複数あるが、必要な人に情報が届いていない             | ・相談窓口を広く知ってもらう機会を設ける                   | 子ども部会    | 2020年度              | 子ども部会で検討                 | 2020年度末    |
| 子1607 | 発達に偏りのある子どもとの接し方を勉強する機会がほしい。            | 支援者<br>親(家族)                      | ・子どもとの接し方を学ぶ機会が足りていない                  | ・研修会・勉強会の実施                            | 子ども部会    | 2018年10月<br>(年1回ほど) | 講演会を実施                   | 2018年度末    |

| No    | 困りごと(事象)  |              | 原因(分析)   | どうやってクリアできるか(仮説)                                    | 具体的な取り組み       |                    |                                     | 評価<br>予定時期 |
|-------|---|--------------|--|---|----------------|--------------------|-------------------------------------|------------|
|       | 内容  | 誰が           |  |   | いつ             | 誰が                 | いつ                                  |            |
| 子1608 | 発達に偏りのある子どもが集まって楽しめる機会が少ない。                             | 親(家族)        | ・発達に偏りのある子どもを対象にしたイベントが少ない<br>・地域への障害理解を広める効果が期待されるから                      | ・イベントの開催  | 子ども部会          | 未定                 | イベントの開催                             | 2020年度末    |
| 子1609 | 地域への障害理解を広げていきたい。                                       | 支援者          | ・地域への障害理解を広める効果が期待されるから  | ・自立支援協議会主催の講演会等で、協議会のことや障害理解についての内容を盛り込む            | 子ども部会          | 研修会実施の際            | 啓発の内容を盛り込む                          | 2019年度末    |
| 子1610 | 地域の課題を抽出・共有する機会が少ない。                                    | 親(家族)<br>支援者 | ・地域の課題を聞き取る場がない  | ・地域の課題を聞き取る場を設ける                                    | 子ども部会          | 2017年度末            | 『つばやきシート』の導入                        | 2017年度末    |
| 子1701 | 医療的ケア児の課題について協議する場がない                                   | 親(家族)<br>支援者 | ・柏原市内に医療的ケア児の課題について協議する場がない  | ・柏原市内に医療的ケア児の課題について協議する場を設ける                        | 障害福祉課          | 2018年度             | 子ども部会を『医療的ケア児の協議の場』と位置付け、課題について検討する | 2018年度末    |
| 子1702 | 就学に向けて、相談や情報が得られる場がほしい                                  | 親(家族)        | ・就学に関する情報を聞く機会が少ない   | ・就学説明会と就学懇談会を実施する                                   | 子ども部会<br>教育委員会 | 2018年5月<br>2018年9月 | 就学説明会、懇談会を実施                        | 2018年度末    |
| 子1703 | 発達に偏りのある子どもが大きくなったときの様子やサービスを、子どもに携わる支援者が知らない           | 支援者          | ・子どもに関わる機関や事業所が成人の事業所を見学する機会がない  | ・大人の事業所の見学会を実施する                                    | 事務局            | 2019年度             | 定例会等で部会同士が交流する場を設ける                 | 2018年度末    |
| 子1704 | 進学(中、高、大)に向けて、相談や情報が得られる場がほしい                           | 親(家族)        | ・就学だけでなく、進学についても不安を感じるご家族が多いが、情報を得られる機会が少ない                                | ・進学に関する情報を得られる機会を設ける                                | 子ども部会          | 未定                 | 情報提供を行う機会を設ける                       | 2020年度末    |
| 子1801 | 支援者が、子どもが成人になったときの生活を知らりたい。                             | 支援者          | ・子どもの機関や事業所が大人の事業所の過ごし方を知る機会がない。   | ・部会を超えた事業所の見学会を実施                                   | 事務局            | 2月ごろ               | 事務局で柏原市内の機関・事業所の見学会を企画する。           | 2019年度末    |
| 子1802 | 放デイ等の利用の在り方に関して、家族とずれが生じている(子どもの発達を促すためか、家族の時間を確保するためか) | 支援者          | 放デイ等のサービスが充実するにつれ、家族の時間を確保するための利用が増えていると感じる。                               | ・ケースにより、事情は様々であるため、一概には言えないが、そういった課題があることを関係機関で共有する | 子ども部会          | 2019年6月            | 子ども部会の場で意見交換の場を設けた                  | 2019年度末    |
| 子1803 | 学校に行きづらくなった児童の行き場がほとんどない                                | 本人<br>親(家族)  | 学校に行きづらくなったとき、家以外に過ごす場所が制度上ほとんどなく、家で過ごす時間が増え、本人の精神的な負担が大きくなり、生活のリズムを崩しやすい。 | ・なぜ、学校に行きづらくなるのか、どうすれば児童のより良い生活につながるのか議論の場を設ける      | 子ども部会          | 2020年度中            | 子ども部会の場で意見交換の場を設ける                  | 2020年度末    |

2021年度  
Check (確認・評価) …2022年3月

| No    | 困りごと(事象)   |               | 評価日     | 実行してどうだったか<br>(検証)                 | クリア(終了)/持ち越し | 理由(持ち越し場合は新たな仮説を立てて記載)                       |
|-------|--|---------------|---------|------------------------------------|--------------|--|
|       | 内容   | 誰が            |         |                                    |              |  |
| 子1501 | 18歳になると、放デイが使えなくなり、生活介護施設Bなどが残った後のサービスの確保が、親がフルタイムで働けない。 | 親(家族) 支援者     | 2015年度末 | 未実施                                | クリア(終了)      | くらし部会で検討する課題となった為。                           |
| 子1502 | 進学やサービス利用の際に同じ内容の履歴をそのたびに話さなければならぬ。                      | 親(家族) 支援者     | 2015年度末 | かしわらっこ作成し<br>て配布完了                 | クリア(終了)      | 今後、内容の追加・改定及び、運用の仕方の検証が必要。                   |
| 子1503 | 障害児が思い切り遊べる場所がない。  | 本人            | 2015年度末 | 実施                                 | クリア(終了)      | 子ども部会の会合で教育委員会へ打診した。                         |
| 子1504 |  | 親(家族)         | 2015年度末 | 未実施                                | クリア(終了)      | 行政間(教育委員会や障害福祉課)で検討するも、管理・運営面等の理由で難しいと判断された。 |
| 子1505 | 各種検診で該当する児が出て、その後、療育を十分に受ける体制が整っていない。                    | 親(家族)         | 2015年度末 | ワークシートにまと<br>めた                    | クリア(終了)      | 資源を知る共通ツールが完成した為終了。今後はかしわらっこファイルに添付する等検討を行う。 |
| 子1506 |  | 支援者           | 2017年度末 | 第5期障害福祉計画に「児童発達支援センター設置」が盛り込まれていた。 | クリア(終了)      | 設置に向けて自立支援協議会子ども部会として協力する。                   |
| 子1507 |  | 親(家族)         | 2017年度末 | 未実施                                | クリア(終了)      | 『1701 医療的ケア児の課題について協議する場がない』に統合する            |
| 子1508 | 通院、通学の送迎がなくて困っている。                                       | 支援者           | 2017年度末 | 府に要望をあげてい<br>る                     | クリア(終了)      | 今後も支給範囲等の見直しを、国や府に要望し続ける。                    |
| 子1509 |  | 親(家族)         | 2015年度末 | 未実施                                | クリア(終了)      |  |
| 子1510 | 医療的ケア(吸引・気管切開・胃ろう等)の必要な子どもが利用できる保育所がない。                  | 支援者           | 2017年度末 | 未実施                                | クリア(終了)      | 『1701 医療的ケア児の課題について協議する場がない』に統合する            |
| 子1601 |  | 親(家族)         | 2017年3月 | 未実施                                | クリア(終了)      |  |
| 子1602 | 発達に偏りのある子どもが使えるサービスの一覧表がほしい。                             | 支援者<br>親(家族)  | 2021年度末 | 未実施                                | 持ち越し         | サービス一覧表の必要性、実現可能性について再度検討していく。               |
| 子1603 | 療育機関(心理・OT・PT・ST等)がすぐに利用できない。                            | 相談機関<br>親(家族) | 2017年3月 | 子ども部会で呼びか<br>けた                    | クリア(終了)      | 今後も定期的に部会内で呼びかける。                            |

| No    | 困りごと(事象)                                    | 具休策   | 評価日     | 実行してどうだったか(検証)   | クリア(終了)/持ち越し | 理由(持ち越し場合は新たな仮説を立てて記載)   |
|-------|---|---|---------|--|--------------|--|
| 子1604 | 相談や療育機関を利用した子どもの状況や検査結果を柏原市全体と<br>して把握しにくい。 | 市として情報を共有する<br>ツールとして、相談支援<br>ファイル『かしわらっ<br>こ』の運用を推進する                | 2021年度末 | イベント時にファイ<br>ルの説明と配布を<br>実施  | 持ち越し         | 就学説明会、就学前座談会、部会などの際、保護者や支援者に対<br>し、ファイルの活用方法の説明し、就学等での引継ぎの際活用し<br>てもらおうという周知を行った。引き続き、次年度もファイルの運用<br>を促していく。 |
| 子1605 | 発達に備りのある子どもを持つ保護者が不安や悩みを抱えている。              | 子ども部会主催で就学前<br>相談会を実施する   | 2017年3月 | 教育委員会協力のも<br>と、『就学説明会』<br>を実施し、数名の参<br>加があった。  | クリア(終了)      | 2018年度は5月に就学説明会、9月に就学懇談会を実施する。   |
| 子1606 |   | 相談窓口を広く知って<br>もらう機会を子ども部会で<br>検討する                                    | 2021年度末 | 未実施  | クリア(終了)      | 子どもとそのご家族が安心して過ごせる地域になるよう、子ども<br>部会としてできることを行っていく。   |
| 子1607 | 発達に備りのある子どもとの接し方を勉強する機会がほしい。                | 子ども部会主催で、研<br>修会、勉強会を実施する   | 2019年3月 | 2018年12月に、事業所<br>の事例報告会を実施し、<br>西村小児科の先生にコメ<br>ンテーターとして参加し<br>てもらった。非常に好評<br>であった。             | 継続           | 隔年で研修会と事例報告会を実施する。2019年度は研修会を実施<br>する。   |
| 子1608 | 発達に備りのある子どもが集まって楽しめる機会が少ない。                 | 子ども部会主催でイベン<br>トを開催する   | 2021年度末 | 未実施  | クリア(終了)      | 近年、放課後等デイサービスなどの福祉サービスが充実してきて<br>おり、一定のニーズを満たせていると判断し終了とする。  |
| 子1609 | 地域への障害理解を広げたい。                              | 地域向けの講演会を実施<br>する   | 2019年度末 | 障害理解のための啓発を<br>目的とした研修は実施で<br>きていないが、部会主催<br>の研修会等の後に、自立<br>支援協議会の説明や障害<br>理解のための内容を付け<br>足した。 | クリア(終了)      | 今後も、啓発を目的とした講演会を実施するのではなく、自立支<br>援協議会主催の他の講演会等で、協議会の説明や障害理解のため<br>の内容を盛り込み、啓発としていく。                          |
| 子1610 | 地域の課題を抽出、共有する機会が少ない。                        | 地域の課題を聞き取るた<br>めに、『つぶやきシー<br>ト』を子ども部会参加の<br>機関、事業所に配布し、<br>現場の課題を聞き取る | 2017年3月 | 2017年度に子ども部会<br>出席の機関、事業所から<br>課題抽出を行った。   | クリア(終了)      | 今後も継続する。   |
| 子1701 | 医療的ケア児の課題について協議する場がない                       | 子ども部会『医療的ケ<br>ア児の協議の場』と位置<br>付け、課題について検討<br>する                        | 2018年度末 | 2019年2月の部会を『利<br>用的ケア児の協議の場』<br>とし、課題について検討<br>した。   | クリア(終了)      | 今後も継続する。また、新たに医療的ケア児の具体的な解決策を<br>どう実施するか、今後が必要。  |

| No        | 困りごと（事象）  |             | 具休策  | 評価日     | 実行してどうだったか<br>（検証）                                      | クリア（終了）/持ち越し | 理由（持ち越し場合は新たな仮説を立てて記載）   |
|-----------|---|-------------|--|---------|---|--------------|--|
| 子<br>1702 | 就学に向けて、相談や情報が得られる場がほしい                                  | 親（家族）       | 就学説明会、懇談会を実施                                       | 2018年度末 | 2018年6月に就学説明会を、10月に懇談会を実施した。多数の家族が参加し、不安の軽減につながることができた。 | クリア（終了）      | 今後も継続する。   |
| 子<br>1703 | 発達に困りのある子どもが大きくなったときの様子やサービス、子どもにも関わらず支援者が知らない          | 支援者         | 定例会等で部会同士が交流する場を設ける                                | 2018年度末 | 2019年3月の定例会で、ケース検討会を実施し、部会を超えた交流の場を設ける。                 | クリア（終了）      | 今後も必要に応じ継続する。  |
| 子<br>1704 | 進学（中、高、大）に向けて、相談や情報が得られる場がほしい                           | 親（家族）       | 情報提供を行う機会を設ける                                      | 2021年度末 | 未実施   | 持ち越し         | 相談先を周知する機会を作っていく。  |
| 子<br>1801 | 支援者が、子どもが成人になったときの生活を知りたいたい。                            | 支援者         | 部会を超えた事業所の見学会を実施                                   | 2019年度末 | 事務局を中心に、2020年2月に実施した。成人と児童の事業所スタッフそれぞれがお互いを知る機会となった。    | クリア（終了）      | 今後も必要に応じ継続する。  |
| 子<br>1802 | 放デイ等の利用の在り方に関して、家族とすれが生じている（子どもの発達を促すためか、家族の時間を確保するためか） | 支援者         | ケースにより、事情は様々であるため、一概には言えないが、そういった課題があることを関係機関で共有する | 2019年度末 | 子ども部会内で提議があり、意見交換する機会を設けることができた。                        | クリア（終了）      |  |
| 子<br>1803 | 学校に行きづらくなった児童の行き場がほとんどない                                | 本人<br>親（家族） | なぜ、学校に行きづらくなるのか、どうすれば児童のより良い生活につながるのか議論の場を設ける      | 2021年度末 | 未実施   | 持ち越し         | 部会のグループワークのテーマのひとつとして、議論の場を設けた。引き続き同様の場を設けるとともに、日々更新されている社会資源の情報を共有する機会を作っていく。 |